

新型コロナウイルス感染症に対する支援策 21.6億円（うち6月補正15億円）

6月補正予算で実施する取組

感染拡大時の体制・機能強化 2.3億円（うち6月補正：2.1億円）

○訪問による自宅療養者への健康観察（101,400）
看護師が自宅療養者を訪問し、安否確認・健康観察を実施

○自宅療養者に対する食料品等支援（46,920） ※6月補正33,600 + 既決予算13,320
自宅療養者に対し、食料品・生活必需品・衛生物品を支援

○パルスオキシメーター等による健康観察（36,000） ○クラスター発生施設等への医療支援（37,600）
自宅療養者の健康観察に活用しているパルスオキシメーターを高年齢施設、障害者施設、医療機関でクラスターが発生した場合でも追加整備
医師等の派遣など、軽症・無症状の陽性者が療養できるよう支援

【一体的に実施】

●介護保険事業所（通所系等）における感染防止対策の巡回点検（2,630）
高齢者施設への医師の巡回点検を実施し、平常時の感染防止対策を支援

地域経済対策 17.5億円（うち6月補正：11.6億円）

【一体的に実施】

●休業要請等に協力する事業者への家賃支援（890,000）
酒類又はカラオケ設備を提供する飲食店等で、休業又は時短営業に協力した事業者に対し、最大40万円の家賃等賃借料を支援

●中小事業者への月次支援金の給付（470,000） ※6月補正144,000（県負担分） + 既決予算326,000（市負担分）
緊急事態宣言により影響を受け売上が減少した事業者に対し、法人最大50万円、個人最大25万円の月次支援金を給付（国の支援金に上乘せ・横出し支援するもの）

●宿泊施設を活用したテレワーク推進（100,000）
テレワーク等での宿泊施設利用を支援（1人1日利用あたり3,500円を上限に、宿泊プランの半額を助成）

●中小企業のDX推進支援（100,000） ※うち6月補正30,000
テレワークやオンラインビジネス、生産性向上等、デジタル化を進め事業変革に取り組む事業者に対する補助（上限200万円、補助率2/3）等を実施

○宿泊施設等改修支援事業（100,000）
感染防止対策に資する物品の購入やワーケーションスペースの設置などを行う宿泊施設に対し、福岡県と連携して補助（最大750万円）を実施

●クラウドファンディングを活用した飲食店支援（62,000）
クラウドファンディングを活用した飲食店支援「(仮)夏に行く券」発行事業を実施

●地元の逸品支援事業（30,000）
市内大手小売店と協力し、地元産品を集めたお中元の送料を負担し、地元産品の販路拡大を促進

市民等への支援 1.8億円（うち6月補正：1.3億円）

○コロナ禍で困難を抱える女性に寄り添う緊急支援（12,000）
経済的・心理的な課題を抱える女性に対する支援を強化（専門的な知見を有するNPO等を通じたアウトリーチ型支援や、緊急相談窓口をムーブに開設など）

○緊急短期雇用創出事業（29,100）
県の事業を活用し、学生を含め、新型コロナの影響により働く場を失った方の短期雇用の場を創出

○ライブハウス等の事業者に対する支援（10,000）
市内のライブハウス等の事業者に対し、映像配信を支援するための実践ワークショップを実施

○保育施設併設型コワーキングスペースの整備（42,500）
託児機能を併設したオフィスや女性向けコワーキングスペースをAIMビルに整備

○次世代通信整備型コワーキングスペースの整備（45,000）
次世代通信規格5G環境を常設で提供する全国初のコワーキングスペースを小倉駅周辺に整備

○文化芸術活動の再開支援（40,000）
市内文化施設等の施設使用料・設備使用料を補助（50%相当、上限50万円/日）し、文化芸術活動の再開を支援

6月補正で実施するその他の事業 18.5億円

○学校体育館・スポーツ施設・青少年施設におけるバスケットゴール更新（1,725,800）
設置後25年を経過し、老朽化した市内公共施設のバスケットゴールを全て更新（177校・施設、968基）

○学校応援基金への積立（121,786）
学校教育の推進に役立てることを目的として受け入れた寄附金について、学校応援基金に積み立て

6月補正予算の規模と財源内訳

6月補正予算計上額（一般会計）	33.5億円
うち新型コロナに対する本市の支援策	15億円
6月補正で必要な一般財源	5億円
【財源内訳】 新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金	4.7億円
財源調整用基金の取崩し	0.3億円